

帳にいれていたことが判明したのですが、税務署はそれをつかんで通帳をだすように言ってくる。当然見せたくはないわけですが、私もそろらに加勢して「見せる必要ないよ」と。今からだと考えられない話ですが、当時は正義と思っていた。あなたも頑張った。先生なあの、それは全然良くない。今回は納税者のほうがよっぽど悪いよ。あなたも利用されているだけで」と諭されてすこし冷静になりました。誤魔化していることがクライアントにとってプラスになるか？といえばそうではないし、税理士の仕事の本質はなにか？というのをすこしずつ考えるようになりました。

## 大事なものはハートの部分だと思っただけです

税理士ってコミュニケーションです。申告書とかは誰がやっても同じ結果になる仕事で、逆に言えば同じにならないと大問題です。国で決まっているルールに従って、税理士が確認していくわけですが、大事なものは数字が持つ意味です。仕事を始めてもう50年近くになります。税理士の仕事が年々面白くなっています。いわば財布の身を全部知っている間柄で、様々な問題解決を依頼されるのは税理士の醍醐味です。とくにうちのようないくつかの事務所の場合は本当にいろいろな相談を持ち込まれてきます。だからスタッフにいつも言っているのは「寄り添ってとにかくお話をゆつくり聞きなさい」なのですが、対応に違和感を感じるときには「親兄弟にはそんな受け答えや通り一遍等の対応しないでしょ、なにか相談をうけると

きには親兄弟と違って接しなさい、それで話す言葉もかわるし言葉が変われば関係性もかわるから」と話すのですが、やはり大事なものはハートの部分だと思っただけです。税理士として数字をあつかっていますが、意味ある数字にするのは人間のハートだと考えるようになってから、どんどん税理士の仕事が面白くなってきましたね。

## 何かの時には私が最前線に立って守る

うちの事務所でもあり、私の強みはひとことといえば「入りこむこと」です。これはある意味で「ぐりぐりスキ」ともいえるので、もちろん境界線はひきますがそのギリギリまで行き、何かの時には私が最前線に立って守る、という絶対的な安心感を感じてもらいたいことを意識しています。通り一辺倒のことをやるのでは、弊事務所に任せてもらいう意味はあまりありません。ほかの事務所でもできることにはあまり意味がないと思うのです。せつかく西宮宣之税理士事務所に依頼いただけるのなら、その価値を感じてもらいたいです。いまの財布の身、これからの財布の身を考えると、何をどう構築していくのか？が仕事の醍醐味なのではないか話ばかりではありません。時には廃業・倒産してしまうこともあります。私の経験のなかでも全力を尽くしたものの残念な結果になってしまったこともあります。でもそんなときでも「お世話になりました、ありがとう」と言ってもらえることに、この仕事の重みや責任の大きさを感じますね。

## 義理とか恩を絶対に忘れないこと

いろいろな経営者を見てきましたが、事業を順調に伸ばしていく経営者はすべからず人付き合いがうまいです。人付き合いがうまいという意味は、義理とか恩を絶対に忘れないこと。やってもらったことは忘れない、ご縁も大事にする。そういう方を見ていると人は人によって磨かれることを痛感します。1人で生きていける人はいませんから、どれだけの人に協力してもらえるのか、応援される人になることが大事だと思っただけです。時代もどんどん変わっていき、税理士の仕事も単純作業がどんどん機械化されています。10年後になくなる職業の上位に税理士事務所の事務とも書かれていますが、こういう時代だからこそ人間にしかできないことに価値が出てくる。人付き合いなんてまじにそう。これは機械では絶対にできません。だからコミュニケーションを大切にクライアントさんとの繋がりをつくり、言葉にできない部分も敏感に感じ取り、寄り添うのか？が大事です。特に税理士の仕事は状況がいいときではなく、良くないときに真価が問われますから、苦しいときにこそ頼りにしてもらえよう。事務所に成長させたいですね。

## 上手いかわないことを楽しむのが人生の醍醐味

くよくよしたり後悔したりすることはあまりないですが、事務所に入るときに東京

の会計事務所に勤めたほうがよかったなあと、今でも思う時があります。井の中の蛙だったなとも思うし、その場面で一歩踏み出していれば違う人生だったかもしれない。世界も広がっただろうし、もっと様々な経験ができていたかもしれない。だから若い方にアドバイスするとすれば「挑戦したほうがいいよ！」ですね。これはもはや言い古されて定番ともいえることですがやはりそう思う。したいこと、興味あることは死ぬ気で全部やったほうがいい！私もまだまだやりますよ！70歳を超え目もみえにくくなってきましたが、ゴルフはまだまだ上手になりたいし、またホルン演奏したいし、サックスももっと上手に演奏したい。ゴルフもサックスも練習しているときすごく楽しい！だつて上手いかわないんだもん(笑)。なんでもそうですがすぐ上手いことはすぐ楽しくなくなりません。ギターなどでボーリングするようなんです。なかなか上手いかわないからずっと楽しい、仕事だつてなかなかうまくいかないから頑張るわけですよ。仕事もそう、遊びもそう、上手いかわないことを楽しむのが人生の醍醐味だと思っただけです！



6.インタビューは淀屋橋サロンで。笑っぱなしの2時間でした(ハハ) 7.ブラウンは「調和」の色、寄り添うことを大事にしている西宮さんにはふさわしい色目です

# 寄り添ってとにかくお話をゆつくり聞きなさい